

調査目的

- 学校選択制度のこれまでの成果について、保護者・子どもからの評価をもとに検証を進めるため
- 学校を核とした地域コミュニティ形成に対して、学校選択制度が与える影響について、市民からの評価をもとに検証を進めるため

対象者

- 西東京市立小学校 6学年保護者 …… 約1,630名
- 西東京市立中学校 1学年保護者 …… 約1,430名
- 西東京市立中学校 1学年生徒 …… 約1,430名
- 市民（18歳以上の無作為抽出） …… 約3,500名

回答方法

- 学校を通じてアンケート配布・回収（保護者・生徒）
- 郵送によりアンケート配布、郵送又は市HPにより回答（市民）

調査時期

- 令和3年11月から12月頃を予定

調査項目 (案)

(1) 保護者（小6・中1）

- 入学先を決定する際の判断基準
- 学校行事への参加状況について
- 地域行事への参加状況について
- 卒業後も地域の行事に参加したいか
- 特色ある学校づくりが進んでいるか
- 学校までの通学時間
- 災害時に不安なことについて
- 課題整理に向けた検討の必要性は理解できるか
- 学校選択制度の在り方について

(2) 生徒（中1）

- 入学先を決定する際の判断基準
- 中学校の情報をどのように知ったか
- 入学先は誰が決めたか
- 地域行事への参加状況について
- 卒業後も地域の行事に参加したいか
- 学校までの通学時間
- 災害時に不安なことについて
- 学校選択制度の在り方について

(3) 市民（無作為抽出）

- 地域行事への参加状況について
- 地域社会での人間関係の変化について
- 特色ある学校づくりが進んでいるか
- 地域コミュニティ形成において重要なこと
- 学校選択制度により地域コミュニティ形成が難しくなると考えるか
- 課題整理に向けた検討の必要性は理解できるか
- 学校選択制度の在り方について